

総合評価

結果公表方法を統一

国交省 整備局HPで明瞭に 4月から

国土交通省は4月から、各地方整備局ごとに「ばらばら」になっていた総合評価方式による入札結果の公表方法を統一する。インターネットのホームページ（HP）での情報公開を充実させ、応札者ごとに加算点の得点を項目別に示すとともに、加算点の合計、入札価格、評価値などを公表する。施工体制評価型や専門工事審査型といった総合評価方式の場合は、

それぞれ施工体制評価型や専門工事審査型の採点状況も分かるようにする。HPの構成も全地方整備局でそろえ、アクセスしやすくする。

現在、各整備局が総合評価方式の入札結果を掲載しているページは、加算点を項目別に公表しているところがある一方、加算点の合計点だけに限定しているケースもある。掲載基準がまちまち。掲載ページがどこにあるかわかりにくく「不親切」と

いう、利用者の立場で改善を図り、公表方法を統一することに決めた。

改善後は、加算点の合計点だけでなく、加算点を構成する項目別の採点結果も公表。施工体制評価型や専門工事審査型といった総合評価方式の場合では、通常の加算点とは別枠で設定されている施工体制評価点や専門工事審査点それぞれの得点状況を明示する。応札者の技術提案がどう評価されたかが分かるようになり、企業の受注戦略にも影響を与えそうだ。

掲載ページを示す場合

も例えば「総合評価方式の落札結果」のように簡便な用語で統一し、容易にアクセスできるようにする。

国の機関が発注する工事の入札情報を掲載している「入札情報サービス（PPI）」では総合評価方式の評価値が掲載されていない。総合評価方式の入札が原則化していく中で、今後はPPIの掲載情報の見直しも課題になりそうだ。

決めるため、応札者の加